

## 平成27年度第3回外洋常任委員会議事概要

日時：平成28年1月18日（月）18：30～20：30

場所：トーヨーアサノ会議室

出席者：（理事）

植松眞副会長、坂谷定生常務、平松隆、剝岩政次  
（委員会）

外洋計測委員会委員長 吉田豊、ルール委員会外洋小委員会委員長 大村  
雅一、国際委員会外洋小委員会委員長 鈴木一行  
（事務局）

外洋常任委員会事務局 鈴木保夫

（順不同、敬称略） 計8名

### 1. 開会挨拶

植松副会長：ソフトバンクのアメリカズカップクルー選考会が行われ、3名が選ばれた。

選考会の最後まで体力の続かない応募者が数人いて体力不足を感じた。

### 2. 議事

#### 1. 主催者保険について

坂谷：総務委員会で検討している保険は外洋に適合しないことが分かったので資料の通り、外洋独自の保険を調査検討している。

現行の保険は対象海域が12マイル以内となっているので、経済水域の200マイルまでを対象とできるように、また保険期間については全行事が終了するまでとする。

#### 2. 外洋系全日本レースについて

坂谷：資料の通り、全日本ミドルボートのあり方についてレース委員会より意見が出ている。

植松：ミドルボートはオープンレースだと思う。

レース委員会からミドルの定義を決めたいと提案されているが、定義を決めると開催できなくなると考えるので、今のままで良いのでは。

#### 3. ORCについて

吉田：ORCは事業計画資料の通りである。ORC委員を2月の理事会で認めても

らう事が前提である。

鈴木（一）：メジャーを4月～5月の間に日本に呼ぶことを計画している。

吉田：計測は計測料を前払で着手し、艇登録している艇に発行する。

鈴木（一）：ORCのレビィーは、今までは東日本大震災があったために免除してくれていたが今後はレビィーの負担が発生する。

吉田：証書発行枚数を増やさないと、健全な運営ができない。

鈴木（一）：IRCとORCとで700艇位にしたい。

吉田：2016年は取りあえず引き継ぎ、2017年から本格的に活動する。

鈴木（一）：団体長会議と2月の合同会議で概略を説明、2月の理事会で承認を受けるスケジュールで進めている。

#### 4. 委員会事業報告

坂谷：各委員会の事業計画（案）を団体長会議に提出する。

鈴木（一）：国際委員会の2016年計画を資料に基づいて説明。

平松：ジャパンカップと同様にORCオーナーズ協会を作ったらどうか。

#### 5. 艇登録制度WG

鈴木（保）：艇登録WGは11月に名古屋で内海、東海、湘南の事務担当からヒヤリングを行った。

新艇登録システムについては、団体長会議終了後に事務局長会議を予定しているので、その場で更に意見を聞いて前に進めていく。

#### 6. ジャパンカップについて

坂谷：常任委員会とジャパンカップの実行委員会の関係を整理すべきと思う。

常任委員会とは別にジャパンカップのチームを作ったらどうか。

ジャパンカップの開催基準を団体長会議に提出する。

大会組織については資料を修正しないで団体長会議に提出する。

#### 7. H28、29年度理事選挙について

坂谷：資料の通りのスケジュールで選挙が行われる。

水域理事の推薦枠は資料の通り、外洋系が5人。

選挙理事は外洋系から3名が立候補する。

#### 8. 団体長会議の事項書

坂谷：団体長会議の議事進行を決めたい。

議事については以下のようにする。

<協議事項>

1. H. 28, 28年度理事選挙について
2. ジャパンカップについて
3. 外洋系全日本レースについて
4. 主催者保険について

<報告事項>

1. アメリカズカップの経過及び現状（アメリカズカップ委員会）
2. 艇登録制度について（艇登録制度WG）
3. 緊急対応フローチャートについて（安全・危機管理WG）
4. 国際委員会の現状（国際委員会外洋小委員会）
5. ORCの取り扱いについて（外洋計測委員会）
6. 外洋専門委員会からの報告
7. 次回の開催について
8. その他

以上。

2016年1月25日

文責：鈴木保夫